



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらばと

2024.3-4

No.463

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



令和2-5年度(第36回) 総会報告

令和5年(2023年)11月14日(火)午後2時～2時50分、さいたま市浦和区浦和コミュニティーセンター10階第6集会室で、本誌9-10月号連絡帳欄でお知らせした総会を開催しました。
(文中敬称略)

●議長選出など

午後2時、長野誠治の司会によって開会され、山部直喜代表の挨拶に続き、菱沼一充を議長、浅見徹を書記、近藤龍哉と佐野和宏を議事録署名人に指名しました。

●第1号議案 令和2年度から4年度までの事業報告

前回の総会は、『しらこばと』2019年8月号でご報告した令和元年6月29日(土)、同コミュニティーセンターにおける令和元年度(第35回)総会でした。今回はそれ以後、令和2～4年度までの活動等についての報告です。

第1号議案の1、会員数 各年4月1日会員数は、参考として令和5年度の会員数も加えると、2年1,535人、3年1,480人、4年1,466人、5年1,467人でした。

第1号議案の2、探鳥会 普及部による探鳥会は、次の通り。

年度	計画	中止	実施	参加者数
令和2年度	36回	28回	8回	103人
令和3年度	69回	41回	28回	678人
令和4年度	92回	11回	81回	2,058人
合 計	197回	80回	117回	2,839人

第1号議案の3、令和2～4年度のその他

- (1)令和2～3年、リーダー研修会・年末講演会、中止。
- (2)令和2年1月31日から毎週日曜日午後4時、「埼玉オンライン野鳥フォーラム」をZOOMで生配信開始。
- (3)当会が写真・解説文などを提供した『見沼田んぼ見どころガイド2020』が、令和2年、さいたま市都市局都市計画部見沼田圃政策推進室から、1,200部発行された。
- (4)令和4年9月4日(日)リーダー研修会を開催した。
- (5)調査部によるカモ科カウント、シギ・チドリ調査、第3回県内野鳥分布調査、タカの渡り調査等、野鳥記録委員会・編集部・事業部・IT委員会等の例年に準じた活動を維持実施した。
- (6)令和4年10月27日付郵便で川越市長あて、「伊佐沼をねぐらとするサギ類への影響を考慮し、伊佐沼の花火大会中止、または会場変更を要望する」旨の要望書を提出。令和5年2月17日付川越市長名の「懸案事項の解決に努めてまいりたい。」との返信を受けた。その後、「2023年伊佐沼花火大会は、公園周辺道路の交通渋滞などのため中止」とネット上で広報された。
- (7)メール交換による役員会、オンライン普及部会などを活用し、会の活動を継続した。

第2号議案 令和5年度事業計画(案)

「当会規約第3条(目的) 本会は公益財団法人日本野鳥の会(以下「野鳥の会」という)の連携団体として、野鳥の会及び他の連携団体とも協力し、自然にあるがままの野鳥に接して楽しむ機会を設け、また野鳥に関する科学的な知識と適正な保護思想を普及することで、

埼玉県民の間に自然尊重の精神を育て、人間性豊かな社会の発展に役立つことを目的とする。」に基づき、IT委員会、事業部、総務部、調査部、普及部、編集部、野鳥記録委員会（50音順）、それぞれにおいて、新型コロナウィルスに対し過不足とはならない適切な対策を維持しながら、目的達成のための事業を継続する。

第3号議案

日本野鳥の会埼玉 令和2~4年度決算 5年度予算(案)

収入の部

区分	項目	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算(案)
一般会計	期首繰越金	502,977	289,450	719,884	1,223,834
	会費	2,178,650	2,253,950	2,133,772	2,000,000
	寄付金	0	0	1,250	10,000
	探鳥会参加費	4,280	72,635	219,585	200,000
	雑収入	19,716	20,530	1,171	5,000
	県補助金	200,000	190,000	190,000	190,000
	事業部会計から入金	560,000	260,000	0	0
一般会計合計		3,456,623	3,086,565	3,265,662	3,628,834
事業部会計	期首繰越金	1,327,633	780,327	564,357	656,584
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
	寄付金	0	0	262	10,000
	事業部売上金	2,040	8,310	193,190	200,000
	事業部雑収入	11,886	35,720	27,359	30,000
事業部会計合計		6,341,659	5,824,357	5,785,168	5,896,584
総合計		9,807,182	8,910,922	9,050,830	9,525,418

支出の部

区分	項目	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算(案)
一般会計	会報印刷費	1,078,110	579,150	363,898	400,000
	会報発送料	751,408	364,709	363,780	400,000
	事務所賃借料	984,000	984,000	984,000	984,000
	通信費	124,399	122,329	84,379	100,000
	雑費	77,912	95,702	28,272	50,000
	水道光熱費	53,478	54,119	57,028	60,000
	什器備品費	0	0	0	0
	消耗品費	9,050	15,584	11,062	15,000
	印刷コピー代	92,664	101,088	27,144	50,000
	総務部費用	5,152	0	44,500	50,000
	普及部費用	0	50,000	0	50,000
	編集部費用	0	0	32,203	50,000
	調査部費用	0	0	6,292	20,000
	予備費	0	0	39,270	100,000
期末繰越金		289,450	719,884	1,223,834	1,299,834
一般会計合計		3,465,623	3,086,565	3,265,662	3,628,834
事業部会計	事業部仕入れ金	1,232	0	127,704	130,000
	雑費	0	0	880	1,000
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
	一般会計に支出	560,000	260,000	0	0
	期末繰越金	780,327	564,357	656,584	765,584
事業部会計合計		6,341,559	5,824,357	5,785,168	5,896,584
総合計		9,807,182	8,910,922	9,050,830	9,525,418

第4号議案 令和5年度役員の選任

新任:瀬尾桂一 別井利次 **再任:**相原修一 青木正俊 浅見徹 新井巖 石井智
石川敏男 石塚敬二郎 石光章 伊藤芳晴 井上幹男 入山博 榎本秀和 海老原
美夫 大井智弘 河邊健 楠見邦博 小荷田行男 小林みどり 佐野和宏 須崎聰
鈴木秀治 高崎康晃 千島康幸 手塚正義 長嶋宏之 長野誠治 橋口長和 長谷部
謙二 菱沼一充 菱沼洋子 廣田純平 茂木幸蔵 森本國夫 山部直喜 吉原早苗
吉原俊雄 (合計38名)

役員としてご尽力いただいた近藤龍哉、杉本秀樹、千葉秀男、中村豊己の4氏からは退任のお申し出がありました。長年のお力添え、ありがとうございました。なお、島崎敦氏(入間市)は遠方に移転されたため、また当県に戻るまで役員を休まれることになりました。

第1号議案から第4号議案は承認され、総会は終了しました。

令和5年度 リーダー研修会

普及部

第37回リーダー研修会を2023年9月3日(日)に北本市の埼玉県自然学習センター会議室で開催しました。今回はその報告をさせていただきます。

今回も前回と同様に正午までの座学中心の研修会とし、役員から推薦を受けた5名の方が新たにリーダーに就任しました。

参加者全員の自己紹介の後、普及部からリーダーとしての心構えや注意点の説明、各部・委員会の紹介、質疑応答などを行いました。最後に新リーダーに腕章を貸与して終了しました。

質疑応答では、探鳥会での野鳥の説明方法や見えている場所の教え方などについて多くの質問が出されました。それにペテランの役員・リーダーが、自身の経験をもとに丁寧に返答するなど活発に意見交換がなされました。参加者の皆さん探鳥会に対する真摯な姿勢が印象的でした。

新リーダーは次の5名です。写真むかって左側の方から、富田由香さん(さいたま市)、富田英紀さん(さいたま市)、山下 紀さん(東京都)、木村雅世さん(加須市)、菅野美和さん(さいたま市)です(右端は長野普及部長)。

新リーダーの方々は、すでに探鳥会デビューを果たして、少しずつ慣れてきていることではないかと思います。引き続き暖かく見守っていただき、時には励ましの声をかけていただければ幸いです。



2024/01/07、松伏町まつぶし緑の丘公園探鳥会

(*)リーダー研究会に参加して新リーダーになっていただくためには、まずは相当数の探鳥会に参加して実際の探鳥会がどのように運営されているかを知っていただくことが前提になります。

そうすることで、探鳥会に参加している多くの方々と自然に顔見知りになります。そして、ペテランリーダーから一緒にボランティア活動をしていける仲間として、「ぜひ探鳥会のお手伝いをお願いしたい。については、リーダーに推薦しますので、研修会への参加をお願いします」とお声をかけさせていただくことになると思います。



県内野鳥分布調査から見た環境の多様性

調査部

2020年5月から2022年1月にかけて実施した県内野鳥分布調査結果について、報告書を本会ウェブサイト、概要を本誌2023年3-4月号と2024年1-2月号で発表しました。そのことについて、「第5回SDGsエコフォーラムin埼玉」(2023年12月2日、新座市の十文字学園女子大学で開催)の分科会「生物多様性保全と地域の保護活動」での講演依頼があり森本が担当しました。

講演では、分科会の趣旨を考慮し、野鳥分布調査報告書では触れなかった環境と野鳥の多様性という視点を盛り込みました。ここでは、そのことについて紹介したいと思います。

野鳥の生息状況は、環境と密接に関係しています。野鳥によって生活の場所や餌などが違っていて、競合しにくいように「棲み分け」をしているわけです。

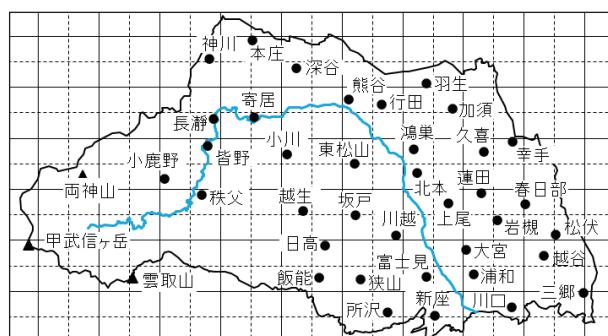
つまり、多様な野鳥が生息するには多様な環境が必要で、野鳥の多様性を守ることは、多様な生息環境を守ることです。そして、多様な生息環境を守ることは、野鳥のみならず多くの生物を守り、生物多様性につながります。

そこで、環境の多様性を把握するために、野鳥分布調査報告書の分布図と同じように、およそ5km四方の5倍メッシュと呼ばれる区画ごとに、夏季調査(5月11日～7月10日)と冬季調査(12月1日～翌年1月31日)で何種の鳥が記録されたかという視点で図にしてみました。マークのない区画は調査できなかったところです。

夏季、冬季とも、種数が多い区画は、大宮台地と周辺の低地、荒川中流域とその周辺、県南東部などに多く、他にも点在します。これら地域は環境が多様と言えるでしょう。

山地、水田地帯、畠地帯など環境がやや単調な地域では、鳥の種数は少なくなります。しかし、鳥の種数が少なくても価値の低い環境とは言えません。そのような環境に依存する鳥もいるからです。

多様な環境に恵まれ多種の野鳥が生息する場所でも、観察者が報告しなければ記録に残る種数はゼロとなります。そんな埋もれた場所をご存知でしたら、野鳥リポーターになって調査部に情報を寄せください。



記録種数 ● 79-70 ○ 69-60 △ 59-50 ▲ 49-40 ▨ 39-30 ▨ 29-20 ▨ 19-1

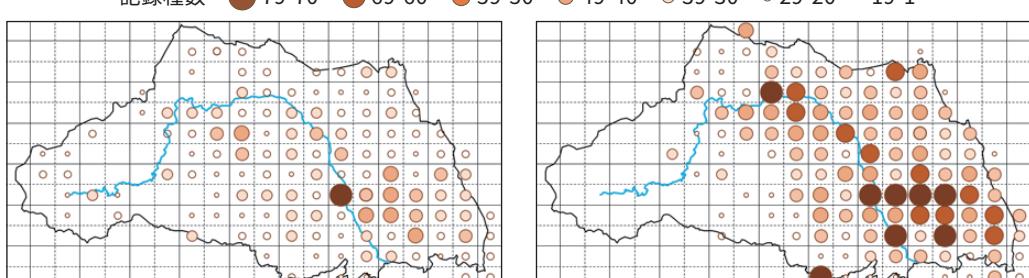


図2. 夏季(左)、冬季(右)における5倍メッシュごとの記録種数

注)全体の記録種数は、夏季135種(うち番外種4種)、冬季152種(うち番外種5種)



草加市柿木町(53396645)

◇5月13日、ムナグロ28、タシギ1、タマシギ♀1、コアジサシ1。タマシギは夕方、日没近くにコーリングを始めた。14日早朝も同じ田んぼで観察した。2000年5月以降に記録が無く、23年振りの嬉しい再会となった。5月14日、ムナグロ12、タマシギ♀1。9月30日、イソヒヨドリ♀1。市民農園の畑で虫をとっていた。10月1日、イソヒヨドリ♀1。10月21日、ノビタキ2(鈴木功)。

上尾市 丸山公園

◇5月19日、ウグイス、カルガモ、カワラヒワ、キジ、カイツブリ成鳥、幼鳥2、ツバメ、モズ、カワセミ、アオサギ、ダイサギ、カワウ、キビタキ、ホオジロ、オオタカ、コジュケイ、ホトギス、ツツドリなど。バーベキュー場付近でコゲラ、シジュウカラ、エナガ、ヤマガラ。メジロ成鳥と幼鳥の混群。幼鳥は巣立ちしてまもない個体が多いようで飛び方が未だぎこちない(村越百合子)。

川越市 伊佐沼

◇5月21日、ヨシゴイ3、コアジサシ11、オオヨシキリ、カイツブリ、ツバメなど。9月18日、伊佐沼北部でコチドリ50、トウネン冬羽1、アオアシシギ4、セイタカシギ2。伊佐沼南部の水面に浮くヨシの生えた浮き島の構造物にとまっているオグロシギ幼鳥1(鈴木紀雄)。

◇6月4日、木の杭に並ぶコアジサシ15の中にクロハラアジサシ1。飛び立っても同じ杭に戻っていた。ヨシゴイ2~3羽(藤原寛治)。

◇6月18日、コゲラ、メジロ、シジュウカラ、カイツブリ成鳥、幼鳥4組、キジ、モズ、カワラヒワ、コジュケイ、オオタカ、セグロセキレイ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、カワウ、ツバメなど。ヨシゴイがヨシ原から隣の水田に移動、カルガモ親子の側に舞い降りる。パニックになる幼鳥5。親鳥が怒るもヨシゴイは田んぼのオタマジャクシを食べ始める。しばらくしてヨシ原に戻る。目の前をシオカラトンボとハクセキレイの追走劇。何度も繰り返し、やっと空中捕獲に成功

する。アジサイの側に舞い降りたハクセキレイのその顔は得意げに見えた(村越百合子)。

◇10月14日、アオアシシギ6、コアオアシシギ2、ハマシギ、イソシギ、オジロトウネン、セイタカシギなど。アオアシシギとコアオアシシギとセイタカシギが一緒にいて、大きさの違いがよくわかった(田村 豊)。

飯能市上名栗

◇5月21日、ミソサザイ2、キビタキ♂、アカゲラ♀1及び巣立ちびな4(鈴木紀雄)。

横瀬町横瀬

◇5月21日、生川最奥部周辺でツツドリ、オオルリ、ミソサザイ、キビタキ♂♀(鈴木紀雄)。

横瀬町芦ヶ久保

◇5月21日、センダイムシクイ、ヒガラ、クロツグミ(鈴木紀雄)。

毛呂山町滝ノ入

◇5月21日、オオルリ、キビタキ、ミソサザイなど(鈴木紀雄)。

上尾市地頭方

◇5月24日、早朝賑やかなカッコウの声で眼を覚ます。耳を澄まし家の近くから鳴いている場所を確認する。玄関前の電線にカッコウ2、しばらく鳴いていた。5月29日、梨畠の近くの電線で鳴いている。様子を見ていると先日のつがいだった。6月2日、早朝眼を覚ます。自宅前から鳴き声が聞こえ探してみる。数日前に来ていたつがい。同じ場所で見られた。6月5日、夕方鳴き声が聞こえ定位位置に1羽確認。つれあいは何処?6月6日早朝、賑やかな声が続いている。今日も玄関前の電線で1羽鳴いていた(村越百合子)。

蓮田市 西城沼公園とその周辺

◇5月25日、オオタカが旋回して高度を上げ、東に流れた。コゲラ、モズ、オナガ、シジュウカラ、メジロ、オオヨシキリ、ハクセキレイ、カワラヒワ、コジュケイなど。6月3日午前6時15分頃、蓮田市立黒浜西中学校の方から数年ぶりにカッコウの声を5~6回聞いた。6月4日、屋敷林の上空をオオタカがカラス2羽に追われて西から南に飛んだ。6月5日午前7時頃、屋敷林からホトギスの鳴き声を連続で10数回聞いた。ここでの初記録だ。6月14日午後6時頃、電線にエナガが10羽とまって騒がしく

鳴いていた。周囲の樹から移ってきては移動して行く。数えたら17羽となった。巣立ち雛も混じっていたようだ。6月27日午前9時40分頃、休耕畠からヒバリが轟りながら上空高く飛び上がった。ここでのヒバリは何年ぶりだろう。6月30日午前6時30分頃、屋敷林の上空を数羽のカラスが騒がしく鳴きながら飛び交っていた。すぐに、どこからともなく集まってその数が10羽+になった。時々、サシバらしい鳴き声も聞こえた。他にダイサギ、コゲラ、オナガ、シジュウカラ、ツバメ、メジロ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、コジュケイなど。7月7日、カワラヒワ6がひまわり畑の上の電線に並んで「ジーン・ジーン」鳴いていた。7月8日、オオタカの若鳥1が屋敷林の中でカラスに追われて、「ピイピイ」鳴いていた。7月10日、ムクドリ50が電線に並んでいた。7月27日、コジュケイが突然に轟りだした。7月30日、オオタカ若鳥3が屋敷林の上を「ピイピイ」鳴きながら飛んでいた。他にコゲラ、オナガ、シジュウカラ、ツバメ、メジロ、ハクセキレイなど。10月5日、カケス5、屋敷林内を飛びかう(長嶋宏之)。

さいたま市岩槻区野孫

◇セイタカシギ1、かなりエリが黒い個体だった(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区尾ヶ崎327-1

◇5月25日、夏羽のアマサギ4、チュウサギ1(鈴木紀雄)。

入間市宮寺 さいたま緑の森博物館

◇5月26日、コサメビタキ1(下写真)、高校の先生たちによる生物観察会に参加した際に観察した。音もなく、スープと枝にとまった(中村達郎)。



草加市柿木町 そうか公園(53396636)

◇5月27日、カワセミ1、メボソムシクイ♂2。9月9

日、ツツドリ幼鳥1、サンコウチョウ幼鳥2、エゾムシクイ2、センダイムシクイ1、コサメビタキ1、キビタキ♀型1。9月23日、オオムシクイ2、エゾビタキ1、コサメビタキ3、キビタキ♀型1。10月21日、ツミ幼鳥1、ジョウビタキ♀1、キビタキ♀型1。10月21日、ツミ幼鳥1、ジョウビタキ♀1、キビタキ♀型1(鈴木功)。

鴻巣市大間1丁目

◇6月5日午後9時30分頃、上空を通過するホトキギの声を聞く。声は、この日を最後に聞かれなくなった。今季の渡りが終了したものと思われる。8月8日立秋。たまたま猛暑がやわらいだ午後のひと時、空を見上げるとショウドウツバメが幾羽も飛んでいた。今季初認。少しづつ秋は近づいている。9月7日午後5時頃、コムクドリ♀が1羽、電線にとまっていた。10月2日午後3時20分頃、サシバ1、南東から北西方向へ上空を通過(榎本秀和)。

蓮田市椿山

◇6月10日、一際大きなツバメが完成まぢかのツバメの巣を壊してしまった。作っていたツバメは巣を放棄してしまった(長嶋宏之)。

秩父市大滝

◇6月22日午前2時30分～午前3時頃、ヤイロチョウの声。上空をゆっくり大きく(半径500m程度)旋回しながらずっと鳴き続けていた(石田健)。

さいたま市大宮区 大宮公園

◇6月25日、舟遊池でカツブリ親子。まだごく小さい4羽のヒナは親鳥の羽の下にすっぽり潜り込み、時々顔だけ突き出したり、近くを泳いだり。巣には2卵が残り、親鳥が抱卵続行中。他にカワウ若鳥、バン、カルガモなど。7月7日、舟遊池でバン親子(幼鳥1)。10月14日、舟遊池とその周辺でカルガモ30±、キンクロハジロ2、カツブリ6、バン2、ダイサギ1、カワウ1、カワセミ1、エゾビタキ1、コゲラ、メジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラスなど(大橋純子)。

さいたま市緑区

緑のトラスト保全第1号地周辺

◇7月9日、メジロ、カルガモ、オオタカ、ウグイス、シジュウカラ、カワセミ、ダイサギ、ホオジロ、ヒバリ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ツバメ、カ

ワラヒワ、アオサギ、モズ、キジ、コサギなど。野田小学校の裏側にある農地側でヨシ原に沢山のオオヨシキリ。近くにあるソメイヨシノやヤマボウシに移動し囀る様子をしばらく見ることが出来た。10月16日、ウグイス、メジロ、シジュウカラ、ホオジロ、ハクセキレイ、エナガ、カケス、オオタカ、コゲラ、ヤマガラ、カワウ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、コジュケイ、コサメビタキ、ヒバリ、センダイムシクイ、ヒバリなど(村越百合子)。

蓮田市笹山

◇7月14日、よりそうタマシギ♂1♀1。少し離れて別の♀1。オオジシギと思われるジシギ1、畔から逃げ飛ぶ。7月22日、チュウサギ15、ダイサギ4、アマサギ2。あちこちに若鳥を連れたハクセキレイ親子(3家族+a)。幼鳥連れのカルガモ親子も2家族。7月25日、チュウサギ40、うち7羽は若鳥。ダイサギ15。10月10日、ノビタキ2。10月13日、ノビタキ1。電線にズラッと並ぶハシボソガラス50+の群中にミヤマガラス10確認。今季初認(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区高曾根

◇7月15日、夏羽のアマサギ1、ダイサギ1、チュウサギ3。ヨシとガマの中からヒクイナの声(鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜

◇7月22日、稻田の畔にオオジシギ1。車内から近距離で観察。7月25日、上沼南側の休耕田でクサシギ2、コチドリ2。9月23日、日野手緑地の林内よりサシバの声が響く。夕刻に近いのでこのまま一夜の宿となるらしい。10月13日、上沼及びそのすぐ北側でダイサギ1、アオサギ1、カツブリ3、オオバン1、バン1、コガモ12、カルガモ1。ヨシ原の灌木にとまるアリスイ1、今季初認。上沼周辺のヨシ原北縁でキビタキの声2、エゾビタキ1。国立病院機構東埼玉病院北西部で桜の木の樹冠でフライングキャッチをしているエゾビタキ計4羽。カケスの声響き、2羽姿見せる。飛び去るツグミ類1、下面に赤色見えず。シロハラか?(鈴木紀雄)。

さいたま市西区 大宮花の丘農林公苑

◇7月23日、アオサギ、オオタカ、カワセミ、シジュウカラ、ツバメ、ウグイス、ホオジロなど(嶋田富夫)。

春日部市倉常

◇7月26日、ダイサギ、チュウサギなどの中にゴイサギ1。タカブシギ1、クサシギ2、コチドリ1(鈴木紀雄)。

JR鴻巣駅東口

◇8月10日、イソヒヨドリの声を聞く。姿は見られず(榎本秀和)。

行田市須加

◇8月13日、休耕田でオジロトウネン成鳥2(下写真)。コチドリ数羽と一緒にいた。9月9日、休耕田でオジロトウネン2、クサシギ成鳥1、タカブシギ幼鳥1。9月23日、タシギ2、タカブシギ幼鳥5、トウネン幼鳥16、オジロトウネン成鳥1。10月1日、休耕田でムナグロ12、タシギ50+、タカブシギ3、イソシギ1、トウネン幼鳥15、オジロトウネン成鳥1幼鳥3、ヒバリシギ幼鳥1、ウズラシギ幼鳥4、エリマキシギ♂幼鳥1♀幼鳥1、ショウドウツバメ100+(鈴木功)。



行田市斎条

◇8月13日、休耕田でムナグロ成鳥4。水が無い休耕田で観察した(鈴木功)。

上尾市戸崎公園周辺

◇8月13日、メジロ、コゲラ、ダイサギ、エナガ、ヤマガラ、ウグイス、ホオジロ、カルガモ、コサギ、アオサギ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、オナガなど。カワセミの声が複数聞こえ、探してみると湿地のタコノアシの花の上で羽を休めている幼鳥3が親鳥から餌を貰う様子をゆっくり見ることが出来た(村越百合子)。

越谷市越谷レイクタウン(53396655)

◇8月26日、ビオトープエリアでコムクドリ50+。9月9日、センダイムシクイ1、イソヒヨドリ♀1。9月24日、メボソムシクイ1(鈴木功)。

さいたま市北区植竹町1丁目

◇9月4日、警察学校北側グラウンドのネットフェンス及び近くのケヤキ並木でカワラヒワ100+。9月30日、埼玉電気会館ビルの屋上でイソヒヨドリ♂囀る(大橋純子)。

さいたま市岩槻区府内

◇9月5日、スーパービバホーム岩槻店屋上で美声で囀るイソヒヨドリ(逆光で♂♀不明)。舞い上がって奥の方へ姿を消した(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区本町4丁目

◇9月6日、3階建ビルの屋上の貯水タンク下の鉄骨で囀るイソヒヨドリ♂1(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区太田1丁目

◇9月6日、庭木にかけてある巣箱をのぞき込むシジュウカラ♂1。2年続けて営巣したので、来年に向けての下見のようだ(鈴木紀雄)。

伊奈町小室

◇9月21日、埼玉県立がんセンター(10階建て)最上階庇で囀るイソヒヨドリ1。10月1日、同センター敷地内でヤマガラ3。キジバト2が逃げ去る後からゆったりとオオタカ亜成鳥1が横切った。10月3日、同所で遙か上空を北へ飛ぶカケス1。メジロ23の群れも北へ。10月8日、同所でエゾビタキ1が飛来し、近くの樹冠にとまる。その後、遠くのミズキの木で2羽が飛び回る。コサメビタキ1が近くの枝にとまる。林内よりアカゲラの声がするも姿確認できず。上空をトビ1が舞う。高压電線にモズがとまって高鳴き(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園

◇9月23日、カッコウ類1羽飛翔。更に別のツツドリ1確認。ムクドリ約50の飛翔群中にコムクドリ数羽混じる。キビタキの声、更にアオジらしき声もするも両者とも姿見えず(鈴木紀雄)。

草加市青柳6丁目

◇9月24日、屋敷林でコサメビタキ1(鈴木功)。

JR鴻巣駅東口

◇9月25日、イソヒヨドリの声。姿は見られず(榎本秀和、榎本みち子)。

さいたま市西区 秋葉の森総合公園

◇9月25日、バーベキュー広場側でモズ、キ

ジ、カワラヒワなど。自然保護ゾーンでコサギ、ダイサギ、アオサギ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カルガモ、オナガ、カワウ、カワセミ。ニセアカシアの木にシジュウカラ、メジロ、コゲラ、ヤマガラ、エナガ混群49。その勢いにびっくりしたのかムラサキシジミ(蝶)12が飛び出して来た。これだけの数は初めて見た(村越百合子)。

吉見町 八丁湖公園

◇9月26日、アオサギ1、カルガモ2、カツブリ5(阿部義裕)

さいたま市桜区

◇10月5日午後12時18分頃、通称大久保農耕地A区でマガソ(下写真)。稲刈りが終わり、秋の田起こし作業が始まっていない乾いた田んぼで、採餌中だった(海老原美夫)。



さいたま市緑区 見沼自然公園

◇10月11日、オオルリ♂若鳥、♀、キビタキ♂、♀、センダイムシクイ、アカゲラ♀1、カッコウ類1(飛翔)。キビタキ♂は2羽で争い?をしていた(田村 豊)。

さいたま市西区三橋

◇10月13日、コウノトリ1、鴨川第一調整池西側上空を秋空の中北北西へゆったり飛行、鴨川にはヒドリガモ♂1♀2がのんびり浮く(浅見健一)。

表紙の写真

スズメ目ホオジロ科ホオジロ属ミヤマホオジロ

昨日3月。さいたま市の秋ヶ瀬公園で撮影しました。 徳名貴房(さいたま市)



行事案内

要予約と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をかけてください。参加者名簿に氏名・住所・電話番号などを記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーやベテラン会員たちが望遠鏡で見せてくれます。**体調を整えてご参加ください。**



コチドリ(石原和子)

参 加 費: 中学生以下無料、会員100円、一般200円。

持 ち 物: 健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持ついれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻: 特に記載のない場合、正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

一口メモ: 1. **要予約**の探鳥会は会員限定で埼玉会員優先の先着順受け付けです。2. [担当]欄 先頭に記載のリーダーが主担当者です。

春日部市・内牧公園探鳥会

再掲

期 日: **4月20日(土)**
 集 合: 午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。
 交 通: 前号記載のコミュニティバスの路線が廃止されましたので次の路線をご利用ください。東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナース行8:41発で、「共栄大学入口」下車。徒歩約7分。
 ※帰路: 上記バス停発13:07、14:47。
 担 当: 石川(敏)、青山(美)、佐野、中村(直)、長野、橋口、別井、三好
 見どころ: 新緑の頃の雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林を巡り、探鳥します。

北本市・石戸宿臨時探鳥会

期 日: **5月1日(水)**
 集 合: 午前9時、北本自然観察公園・埼玉県自然学習センター玄関前広場。
 交 通: JR高崎線 北本駅西口から、北里大学メディカルセンター行バス8:29発で「自然観察公園前」下車。
 担 当: 吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大畑、近藤、柴田、関口、永野、山本(恵)、吉原(早)
 見どころ: 定例の4月と6月とは違う鳥が狙いでいます。4月でも6月でも会えない、5月初旬頃通過する夏鳥を期待しています。

幸手市・宇和田公園探鳥会

期 日: **5月3日(金・祝)**

集 合: 午前9時20分、宇和田公園駐車場。
 交 通: 東武伊勢崎線 東武動物公園駅東口から境車庫行8:40発のバスで「上宇和田」下車。北方向に徒歩5分。
 担 当: 別井、浅見(徹)、木村、近藤、佐野、三好
 見どころ: 田んぼではムナグロやコチドリに期待です。最近見られていないシラコバトは出てくれるでしょうか?

栃木県・小倉山森林公園探鳥会

要予約



昨年4/23の小倉山森林公園探鳥会 今年の葉の茂り具合は?

期 日: **5月4日(土・祝) 4/1からHPで**
 集 合: 午前8時30分、東武日光駅前。集合後徒歩で現地へ。
 交 通: 特急リバティけごん1号東武日光行 春日部7:04発→東武日光8:25着。
 解 散: 昼食後に現地で。
 募集人数: 15名(組)
 担 当: 青木、浅見(徹)、佐野、長野
 見どころ: オオルリ目当ての探鳥会! 今までの探鳥会では100%です。まだ見たことのな

い方ご参加ください。サンショウクイ・キビタキも出現しますが、やはりオオルリを見ることが一番です。

長野県・中軽井沢探鳥会

要予約

期　　日：5月11日(土) 4/1からHPで
集　　合：午前8時、しなの鉄道中軽井沢駅
北口。
交　　通：北陸新幹線大宮発6:53(はくたか551
号金沢行)→高崎7:17→軽井沢着
7:32。しなの鉄道に乗り換え7:42発→中
軽井沢着7:46
※時刻変更の可能性有。
解　　散：午後2時頃、軽井沢野鳥の森。
募集人数：20名
担　　当：佐野、菅野、瀬尾、藤澤、藤田
見どころ：オオルリやキビタキなどの夏鳥を探し
て、長倉神社～別荘地～野鳥の森を
歩きます。
その他：昼食持参。
ご注意：高低差のある健脚向きコースです。足
こしらえはしっかりと。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期　　日：5月12日(日)
集　　合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅
前。
交　　通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居
8:53発に乗車。
解　　散：正午ころに野鳥の森池周辺で。
担　　当：新井、大畑、関口、高橋、千島、山本
(恵)
見どころ：春の渡りの真っ盛り。夏鳥の2大アイド
ル、オオルリ、キビタキに会いに行きま
しょう。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期　　日：5月12日(日)
集　　合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅
南口階段下。集合後徒歩で現地へ。また
は午前9時、加須はなさき公園管理
事務所前。
交　　通：東武伊勢崎線 春日部8:11→久喜8:30
→花崎8:37。またはJR宇都宮線 大宮
7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り
換え。
解　　散：正午ころ、現地で。

共　　催：加須はなさき公園管理事務所
担　　当：茂木、相原(修)、相原(友)、青山
(美)、石川(敏)、長嶋、別井、細田
見どころ：公園内～周辺草原を歩き、初夏の水
辺や林の中で身近な小鳥たちを楽しめ
ます。上空には猛禽類も。

長野県・戸隠高原探鳥会

要予約



(ミソサザイもお待ちしています。菱沼一允)

期　　日：5月18日(土)～19日(日)
集　　合：18日午前9時、長野駅コンコース、新幹
線改札口を出て右側。
交　　通：新幹線「あさま601号」(東京6:52→大
宮7:17→熊谷7:30→高崎7:45→長
野8:37着)、または「かがやき503号」
(東京7:20→大宮7:45→長野8:40
着)など。
解　　散：19日16時頃、長野駅前。「あさま626号」
(16:25発)に乗車できるように調整。
費　　用：18,000円の予定(1泊3食、現地バス
代、旅行傷害保険料等)。万一過不足
は当日清算。集合地までの往復交通
費は各自負担。
定　　員：16名。
申し込み：当会HPで4月1日から受付開始。
担　　当：菱沼(一)、浅見(徹)、佐野、菱沼(洋)
見どころ：鳴鳥たちのコーラスとキバシリ、ゴジュウ
カラなど平地では見ることのできない鳥
たちと出会えます。夜は由緒ある旅館
でおいしい蕎麦と地酒を楽しみます。
その他：宿泊は男女別(夫婦は同室)。宿の状
況で変わります。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期　　日：5月19日(日)
集　　合：午前9時、さいたま市立浦和博物館
前。

交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東武バス①番乗り場 さいたま市立病院行8:21発で終点下車。
 後 援：さいたま市立浦和博物館
 担 当：須崎、青木、浅見（健）、菅野、楠見、小菅、小林（み）、富田（英）、富田（由）、中橋、畠山、三好
 見 ど こ ろ：芝川沿いでコチドリの姿を探します。陽が射すと暑くなりますので、温度調節できる服装でご参加ください。

埼玉Young探鳥会@渡良瀬遊水地

期 日：5月19日（日）
 担 当：廣田
 ※詳細は4月中旬にHP・SNSでお知らせします。

狭山市・入間川定例探鳥会

期 日：5月26日（日）
 集 合：午前9時、西武新宿線 狹山市駅西口。
 交 通：西武新宿線 本川越8:40発、または所沢8:38発に乗車。
 解 散：正午ころ、稻荷山公園で。
 担 当：長谷部、石光、金井、小林（ま）、佐藤（久）、瀬尾、中村（祐）、山口、山本（真）
 見 ど こ ろ：新緑の野山を歩きましょう。カワセミ、コチドリ、シジュウカラ、繁殖期の鳥たちは、みんなきれい。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期 日：6月2日（日）
 集 合：午前9時、北本自然観察公園・埼玉県自然学習センター玄関前広場。
 交 通：JR高崎線 北本駅西口から、北里大学メディカルセンター行バス8:38発で「自然観察公園前」下車。
 担 当：吉原（俊）、相原（修）、相原（友）、秋葉、浅見（徹）、大畑、近藤、柴田、関口、永野、山本（恵）、吉原（早）
 見 ど こ ろ：葉が茂って鳥が見難くなる季節ですが、静かに耳を澄まして公園内を歩きましょう。ホトギス、ウグイス、オオヨシキリなどの鳴き声が聞こえてきます。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期 日：6月6日（木）平日

集 合：午前9時、羽生水郷公園水族館前休憩舎。
 交 通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート（ムジナもん号）を利用。東武伊勢崎線 羽生駅東口8:04発→南羽生駅8:21発→「キャッセ羽生・水郷公園」下车。県道を渡り公園へ。
 共 催：羽生水郷公園管理事務所
 担 当：相原（修）、相原（友）、新井、関口、長嶋、別井、細田、茂木
 見 ど こ ろ：梅雨が心配な時期ですが、平日の静かな公園で青葉にひそむ夏鳥や忙しげにエサを運ぶ親鳥たち、上空で囀るヒバリを楽しみましょう。
 ご 注 意：帰りのバスは14:50発です。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期 日：6月9日（日）
 集 合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。
 交 通：秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居8:53発に乗車。
 解 散：正午ころに野鳥の森池周辺で。
 担 当：茂木、新井、大畑、関口、高橋、千島、山本（恵）
 見 ど こ ろ：初夏の草原や林に夏鳥が来ました。青い鳥を探して、猛禽類にも注意しながら歩きましょう。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期 日：6月16日（日）
 集 合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
 交 通：JR北浦和駅東口バスターミナルから東武バス①番乗り場 さいたま市立病院行8:21発で終点下車。
 後 援：さいたま市立浦和博物館
 担 当：小林（み）、青木、浅見（健）、浅見（徹）、菅野、楠見、小菅、須崎、富田（英）、富田（由）、中橋、畠山、三好
 見 ど こ ろ：身近な鳥たちの親子連れ。シジュウカラ、ムクドリ、カラス類など。

群馬県板倉町・渡良瀬遊水地探鳥会

期 日：6月22日（土）
 集 合：午前8時40分、想い出橋駐車場。
 交 通：東武線館林行 新越谷7:23春日部7:38 東武動物公園7:43で南栗橋行に乗り

換え 南栗橋7:54着で東武宇都宮行に乗り換え 板倉東洋大前8:13着。またはJR宇都宮線下り大宮7:27栗橋7:55着 東武日光線に乗り換え 板倉東洋大前8:13着。

解 散：正午ころ、谷中湖北ブロック展望塔付近の藤棚。

担 当：佐野、浅見（徹）、野口、山本（恵）、山本（巧）

見どころ：ヨシ原でコヨシキリやオオセッカを探します。コウノトリやカッコウ、ホトギスなどにも期待。

長野県・軽井沢発地

～池の平湿原探鳥会

要予約

期 日：7月6日（土）～7日（日）

定 員：16名。

申し込み：当会HPで6月1日から受付開始の予定です。

※詳細は次号5・6月号をご覧ください。

長野県 松本市・乗鞍

～上高地探鳥会

要予約

期 日：7月20日（土）～21日（日）

集 合：20日午前6時30分 大宮駅西口または午前7時 川越駅西口の2ヶ所。

解 散：21日午後9時 川越駅西口および午後9時45分 大宮駅西口の2ヶ所の予定。ただし、高速道路の渋滞等の交通事情により変更することがあります。

交 通：集合地から貸切バス（27人乗り中型）を使用。

費 用：48,000円の予定（貸切バス代、宿泊代、2日目の昼食代、保険代等を含む）。

※過不足の場合は当日清算。

定 員：27名。最少催行人数22名。

申し込み：当会HPで6月1日から受付開始。

担 当：入山、菅野、櫻井、長谷部

見どころ：乗鞍で『ライチョウ』、上高地で『コマドリ』を堪能したいと思います。鳥以外でも、コマクサ等の高山植物の花々や穂高連峰の景色を楽しむ事が出来ます。

そ の 他：宿泊先はザ・パークロッジ上高地です。一部屋2名で、御夫婦・親子での同室は可。それ以外は男女別の相部屋で個室の用意はできません。参加者には後日詳しい案内を発送します。

極小マイフィールド

大塚純子（さいたま市）

わが庭は虫の楽園すづめらも
繁く訪れ草の実を食む

雑木の小さな自宅庭には、夏の間は雑草が生い茂り、オンブバッタなどが大発生。スズメは、時々バッタを捕食に来ていますが、9月頃からはイネ科植物の種子を目当てに、毎日6～8羽やって来る。シジュウカラやメジロも来ています。

人気者のニシオジロビタキ

鷺崎敏章（越谷市）

今日のギャラリーは紳士淑女ばかり。同じ位置でじっと観察・撮影。お陰で今日の彼女はリラックス。近くに来て、餌を探したり食べたり、得意のポーズを取ったりしてくれる。



2023年度 連携団体全国総会について

長野誠治（さいたま市）

11月12日（日）に開催された2023年度連携団体全国総会に参加しました。10時に開会し、昼の休憩1時間挟んで16時30分に閉会とほぼ1日かけてのオンライン会議でした。

午前の部では、財団自然保護室から①「海洋プラスチック対策小冊子の活用について」、②「eBirdについて」、③「再生可能エネルギーについて」の報告と意見交換がありました。

午後の部では、④「リーダー育成について考える」、普及室から⑤「ツバメの子育て見守り感謝状贈呈について」、⑥「野鳥観察撮影マナーのアンケート結果について」、⑦「2023年度探鳥会リーダーズフォーラムの報告について」の各報告と意見交換がありました。

さらに広報室から⑧「90周年事業について」、最後に総務室から⑨「連携団体に関する個人情報保護の確認事項について」の報告があり、会議は終了しました。



10月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加:66(会員61)名 天気:曇

コジュケイ、カルガモ、キジバト、カワウ、ダイサギ、ツツドリ、ヒメアマツバメ、トビ、ノスリ、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ショウドウツバメ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、エゾビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ(33種)(番外:ガビチョウ)

土手ではヒヨドリの群れが飛ぶ。ゴルフ場横でノスリが飛び立ち、ツツドリが木にとまり、森の上をカケスの群れが飛んだ。早々と到着したシメ1羽が木にとまり、草地の上空には、ショウドウツバメ、ツバメ、イワツバメ、ヒメアマツバメの群れ。

(千島康幸)

10月15日(日)
室内会「羽を知る会」Young

参加:21(会員12)名 天気:雨後晴

講師に当会の菱沼一充氏・近藤龍哉氏を迎えて、北本市の埼玉県自然学習センターで「羽の基礎講座」、「羽を見てみよう・触ってみよう」の2部構成で開催した。講師陣の素晴らしい羽コレクションに参加者の目がキラキラ。羽好きな濃い参加者が集まったため、羽談義に花が咲き、時間が足りないと感じた。次の企画も検討したい。

(廣田純平)

10月15日(日) さいたま市 三室地区

雨のため中止。(須崎 聰)

10月28日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

雨のため中止。(佐野和宏)

10月28~29日(土~日) 長野県 戸隠高原

参加:16(会員16)名
天気:28=曇時々雨、29=晴後曇時々雨

キジ、オシドリ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、カツブリ、キジバト、オオバン、ハイタ

カ、ノスリ、コゲラ、オオアカゲラ、アカゲラ、オオゲラ、モズ、カケス、ハシブトガラス、キクイタダキ、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ゴジュウカラ、キバシリ、マミチャジナイ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、キビタキ、ムギマキ、スズメ、キセキレイ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、ベニマシコ、ウソ、シメ、イカル、ホオジロ、カシラダカ、アオジ(47種) 植物園に到着するとコガラが出迎えてくれた。入口広場ではカラの混群、キツツキ類が大サービス。お目当てのムギマキはいつもツルマサキで見ることができた。キビタキとジョウビタキもいて、夏鳥と冬鳥が同時に見られるのもこの季節の戸隠ならでは。2日目は宝光社付近の耕地を観察した後、前日行けなかった鏡池へ。オシドリ、ヒドリガモなどを観察し、隋神門経由で再びムギマキのところへ。キャンプ場では、マミチャジナイを目線の高さで観察でき大満足。

(菱沼一充)



ムギマキ(小松雄一郎)

10月29日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加:25(会員24)名 天気:晴

キジ、カルガモ、コガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、バン、ヒメアマツバメ、ハイタカ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、オナガ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ、オオジユリン(41種)(番外:ドバト)開始早々にジョウビタキが現れる。芝生広場では今季初認のミヤマガラスとハシボソガラスの混群。林でアカゲラやヤマガラを観察していると上空

にハイタカ、ヒメアマツバメが飛ぶ。前玉神社で休んでいるとオオタカが飛ぶ。旧忍川ではゴイサギ幼鳥約40羽が佇み、キセキレイもいる。オオジュリンやクイナの声も聞こえ、最後にはセグロセキレイも現れた。（相原修一）

11月3日(金祝) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加:36(会員31)名 天気:晴

マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、トビ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ(35種)(番外:ドバト) “熱中症に注意”という暑さのなか、先ずはジョウビタキが出迎えてくれた。水辺ゾーンではお休み中のゴイサギやマガモ、バンなどを観察。里山ゾーンにツツドリは見つからず、鉄塔にチョウゲンボウ。公園を出て古利根川まで出ると、トビがのんびりと上空を飛んでいた。（佐野和宏）

11月4日(土) 上尾市 丸山公園

参加:33(会員31)名 天気:晴

マガモ、カルガモ、カツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ハイタカ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、アオジ(29種)(番外:ガビチョウ) カケスとモズ、それにカワセミが出迎えてくれ、続いてシメ、ジョウビタキやアカゲラの姿をじっくり観察。大池では、マガモの群れとここで繁殖した10羽ほどの若いカツブリ。樹上にはカワウとアオサギの姿も。気温が上昇して上空にハイタカやオオタカが出現。湿地の藪ではアオジの姿も見られた。（近藤龍哉）

11月9日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加:31(会員27)名 天気:晴

オカヨシガモ、ヨシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、スズガモ、カツブリ、キジ

バト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、バン、オオバン、トビ、ハイタカ、カワセミ、コゲラ、アカゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン(43種)(番外:ドバト) 11月の目玉はヨシガモで、エクリップスから換羽中、繁殖羽とじっくり観察。他にはオカヨシガモ、ハシビロガモ、ここでは初記録のスズガモ♀も観察。クイナ、バン、オオバンが見え隠れし、樹林ではウグイス、メジロ、シメ、ツグミとアカゲラも現れた。エナガもここでの初記録。（相原修一）

11月11日(土) さいたま市 大宮第二公園

参加:37(会員29)名 天気:曇

ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、キンクロハジロ、スズガモ、カツブリ、キジバト、ヨシゴイ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、アオジ(31種)(番外:ドバト) 渡ってきたばかりらしいツグミ数羽やカモ8種を観察。探鳥会が初めてという方も何人か参加されていて、カワセミをスコープでじっくり見てもらえてホッ。この探鳥会では初認のヨシゴイも出て、大盛り上がり。（浅見 徹）

11月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加:20(会員17)名 天気:曇

カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、トビ、コゲラ、アカゲラ、オオゲラ、ハヤブサ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、ホオジロ、アオジ(27種) 下見では鳥影が少なかったが、気温10℃以下と寒い冬型の気候からか期待以上に鳥が見られた。アカゲラ、アオゲラ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキの他、猛禽類ではトビが舞い、ハヤブサも久しぶりに鉄塔に止まっていた。（茂木幸蔵）



連絡帳

メール交換による役員会3件

1月14日(日)に開催した普及部会議の結果を受けて、長野誠治普及部長は、役員会に2件の探鳥会開催を議案提案しました。事務局は当会役員会メーリングリストを利用したメール交換による役員会を開催することを、15日(月)、同メーリングリストで役員に通知しました。締め切り期限である1月17日(水)午後2時までに、本件に関する意見異議等は届かなかったので、2月3日(土)と3月3日(日)北本自然観察公園で、ヤング探鳥会を開催することが承認されました。

県みどり自然課から、2024年度県鳥獣保護管理員推薦依頼のメールが届き、1月19日(金)、当会役員会メーリングリストに、前年度推薦した石塚敬二郎、小林みどり、佐野和宏さんの3名を引き続き推薦する案を示したところ、提出期限である1月22日(月)午後2時までに意見異議等は届かなかつたので、推薦締め切り期限前に、推薦書を送りました。

2月14日(水)長野誠治普及部長から上程された議案第1号:令和6年5-6月探鳥会計画(案)と、議案第2号:一般(非会員)探鳥会参加費の値上げ(案)につき、事務局は当会役員会メーリングリストを利用したメール交換による役員会を開催することを、同日、同メーリングリストで役員に通知しました。

その結果、議案第1号は承認され、議案第2号は普及部で引き続き検討することになりました。

なお、議案第2号については、その意義、適用開始時期などにつき、議案承認後、普及部の方からお知らせします。

全国野鳥密漁対策連絡会から総会開催の通知

同会から往復はがきが届き、4月14日(日)、京都市内で総会を開催するので、出席の有無を知らせるようにとのこと。

心当たりの幹事に尋ねましたが、積極的に出席したいとの声はなく、残念ながら、「欠席し、議事内容については議長に一任する。」と返信しました。

会員数は

2024年2月1日現在合計1,454人です。

おおぞら会員	575人
赤い鳥会員	452人
生涯会員	16人
個人特別会員	73人
家族会員	338人

編集後記

水元公園にミヅゴイが出ているという。出かける前は、マナーの悪いカメラマンに遭遇するのではないかと気が重かったが、危惧に終わる。注意を促す言葉も、注意を受けた側の態度も実に穏やかなのだ。この関係を醸成するまでに、いかに多くの工夫と努力があったのかを知りたいと思う。(山部)

しらこばと 2024年3・4月合併号(第463号)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号
プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <https://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org またはTEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635
〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、
かたくお断りします。